

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ…



2020年
5月11日
第89号



セージ (シソ科)

今、第二圃場で青紫色の花を穂状に付けているのが見られます。ヨーロッパ南部原産の常緑低木です。古代ローマ時代より薬用植物として多く利用されており、葉に芳香のある精油成分（ツジヨン、ボルネオール、シネオール、カンファーなど）を含みます。別名でヤクヨウサルビアという名も持ち、葉をサルビア葉という西洋生薬として、喉の炎症や胃腸炎に利用します。ただ、英語のsageはサルビア属植物全般を指すので、本種をcommon sageと呼んで区別しています。

現在では生薬ではなく香辛料として利用する事が多く、強い芳香とともに苦味や渋みがあり、魚、鳥、豚肉料理によく合います。また、ハム、ソーセージ等の加工食品に入れられており、ソーセージの語源の一つとも言われています。

昔のヨーロッパの牧畜に頼っていた人達は、過酷な冬を向かえる時、家畜の数を減らし貯蔵しましたが、その時の防腐や香りづけにセージやタイムなどを使っていたと言われています。

クワ (クワ科)

クワの実が付き始めました。クワは属名で、日本原産のヤマグワ、平安時代に薬用として渡来したとされる中国原産のマグワ(カラヤマグワ)が、日本ではよく栽培され、どちらも葉が養蚕に利用されています。自然植物区にあるものがヤマグワ、管理棟の横の鉢植えがマグワです。

マグワの根皮を桑白皮(ソウハクヒ)、葉を桑葉(ソウヨウ)、果実を桑椹(ソウタイ)という生薬として利用します。桑白皮は、漢方では止咳平喘薬として五虎湯や清肺湯に配合されます。桑葉は中医学で祛風薬、日本では桑茶として、欧米では生活習慣病に対するサプリメントとして使用されています。桑椹は、生食(子供の頃、おやつに食べてました)でき、ジャムや果実酒に利用します。

今、こんな草木が
楽しめます！！